

**平成26年度**  
**保健福祉学部附属診療センター**  
**年報**

## 目次

- I. 年度目標と実績
- II. 診療実績
- III. 教育実績
- IV. 研究業績
- V. 従事者名簿

# 1. 年度目標と実績

## 目標①医療機関としての安全管理体制整備

- ②教育および研究のための体制の充実
- ③地域連携システム中の専門機能の充実

## 実績

### ①医療機関としての安全管理体制整備

- ◆医療備品台帳による保守点検の定期実施と補修
- ◆医療安全研修会の実施（7月22日・12月10日）
- ◆備品整備（単純撮影装置・ビデオ撮影装置）
- ◆嚥下検査マニュアルの作成
- ◆医事業務仕様書の整備

### ②教育および研究のための体制整備

- ◆実績 初診患者 194名 再診患者 4465名 リハビリテーション 2855件  
学内実習 103名 学内者見学 455名  
学外者見学 33名（専門職種研修者 7名 研究協力者 1名 海外交流生 25名）
- ◆年報作成の継続と公開にむけての書式の整備
- ◆学生実習の校費負担制度の継続
- ◆臨床検査技師の確保

### ③地域連携システム中の専門機能の充実

- ◆オープンキャンパス日の施設公開（見学者約 650名）
- ◆学外者の研修の受け入れ

## 来年度計画

### ①医療機関としての安全管理体制整備

- ★医療安全対策の継続実施・報告体制の整備
- ★今後の備品整備の検討

### ②教育および研究のための体制の充実

- ★専門診療の充実とその成果を学内外に発信（年報の公開）

### ③地域連携システム中の専門機能の充実

- ★ホームページの充実
- ★学外者の研修制度の整備（海外からの留学生についても検討）

## II. 診療実績

### 県立広島大学保健福祉学部附属診療センター資料(平成26年度統計)

#### ①平成26年度利用者地域分布

地域	初診患者	再診患者	合計	実人数
三原市	89	2492	2581	440
尾道市	33	822	855	162
福山市	39	577	616	179
広島市	12	127	139	26
東広島市	0	28	28	7
府中市	5	38	43	19
三次市	0	14	14	4
安芸高田市	0	0	0	0
呉市	1	12	13	3
神石郡	1	15	16	6
世羅郡	1	113	114	21
竹原市	7	139	146	33
豊田郡	0	9	9	4
廿日市市	0	0	0	0
安芸郡	0	45	45	4
庄原市	1	3	4	1
岡山	0	23	23	5
山口県	5	6	11	7
四国	0	0	0	0
大阪	0	1	1	1
北九州	0	1	1	1
合計	194	4465	4659	923

#### ②平成26年利用者年齢分布

年齢別	初診人数	実人数
3歳未満	8	8
3歳	5	5
4歳	10	25
5歳	21	49
6歳	49	104
小1	6	46
小2	8	54
小3	5	52
小4	7	58
小5	9	63
小6	7	48
中1	5	48
中2	5	37
中3	3	34
高校生	1	68
19歳～20歳	1	26
21歳～30歳	7	26
31歳～40歳	4	13
41歳～50歳	10	30
51歳～60歳	8	32
60歳以上	15	97
合計	194	923

#### ②平成26年初診患者の主診断名

診断名	人数
自閉症スペクトラム	67
知的障害・学習障害	19
注意欠陥多動障害	33
その他の小児神経疾患	7
発声・嚥下・構音障害	43
難聴	6
高次脳機能障害・認知症・脳血管疾患	8
発作性神経疾患	0
脊髄・神経・筋疾患	3
その他の神経内科疾患	3
精神科疾患	3
整形外科疾患	3

### Ⅲ. 教育実績

#### 【授業・見学】

学科	科目名	学年	人数	期間	回数	内容
理学	フレッシュマンセミナー	1	10	5月	1	放射線関連検査室見学
理学	理学療法概論Ⅱ	1	30	12月11日	1	診療センターの見学
理学	医療画像学	3	28	9月	2	放射線関連検査室見学
作業	作業療法倫理・管理学Ⅱ	4	1	12月15日～1月7日	2	作業療法実施時の安全管理について調べる。
作業	小児・発達期障害病態学特論	大学院	3	7月23日～8月12日	3	発達障害の臨床を学ぶ。
作業	精神障害評価学	3	2	7月23日	4	作業療法臨床評価を見学した。
作業	卒業研究	3	2	8月5日	1	卒業研究テーマ(症例)検討
作業	卒業研究	3	4	9月30日～11月4日	4	卒業研究のための事前学習
コミュ	耳鼻咽喉科学	2	30	1日	1	鼻咽喉電子スコープによる耳、鼻、咽喉頭の観察
コミュ	高次脳機能障害学特論Ⅱ	3～4	14	9～11月	1	失語症のある患者さんと言語聴覚士のコミュニケーション場面をビデオ撮影し、映像を授業で活用した。
コミュ	聴覚系障害学演習Ⅰ	2	30	11月	1	聴覚障害のある患者さんに参加いただいて学生との交流会を行い、学生が聴覚障害について理解を深める機会とした。
コミュ	認知系障害学概論Ⅰ	2	30	4～7月	4	失語症のある患者さんと言語聴覚士のコミュニケーション場面をビデオ撮影し、映像を授業で活用した。
コミュ	発達系障害学演習Ⅱ	3	30	12～1月	4	匿名化された患者さんの検査データなどを使い、学習障害の検査・評価・訓練立案を行う演習を行った。

学科	科目名	学年	人数	期間	回数	内容
コミュ	表象言語の諸問題 【言語障害学】(首都 大学東京)	2~4	5	9月	8	失語症のある患者さんと言語聴覚士のコミュニケーション場面・言語評価場面をビデオ撮影し、映像を授業で活用した。
人間 福祉	社会福祉実習指導 II	2	11	12月~2月	7	神経内科の診察に同席し、患者・家族の抱える問題と医師の対応を理解した。
人間 福祉	卒業研究	4	1	9~10月	2	特定疾患の患者の診察に同席し、卒業研究のための事前学習を行った。

## 【実習】

学科	科目名	学年	人数	期間	回数	内容
理学	総合臨床実習 I 補充実習	4	2	8月	4	総合臨床実習 I の補充実習を2名の学生に対して行った。各学生は1症例担当し、カルテからの情報収集、評価を行い治療計画を立案した。
作業	精神科系臨床実習補充実習	4	2	8月19日 ～9月19日	8回(8時間/日)	病休で出席日数が不足した学生2名に対して、担当作業療法士の指導のもとに精神科系臨床実習の補充授業を実施した。なお、患者と保護者の同意は事前に得た。
作業	発達障害治療学実習	3	31	4月1日～ 3月31日	120	発達障害をもつ患者13名の協力を得て、学生に作業療法場面の見学、補助を行わせた。学生2～3名が患者1名を担当し、1組当たり年間10回の実習を行い、作業療法のプロセスを学習した。
作業	精神障害治療学実習	3	29	10月1日 ～ 2月14日	23	3年次29名が担当作業療法士の指導のもとに、患者を各2～3回担当し、評価実習を行った。なお、患者と保護者の授業への協力の同意は事前に得た。
コミュ	臨床実習 I	2	30	4～2月	30	通院中の患者さんの協力を得て、教員による言語聴覚療法の様子を見学した。学生3名が1グループとなり、各グループが3名の教員の臨床を見学した。
コミュ	臨床実習 II	3	29	4～8月	96	通院中の患者さんの協力を得て、言語聴覚障害の評価・訓練を実施した。学生2～3名が患者さん1名を担当し、4セッション×2クール(全8回)実施した。
コミュ	臨床実習 III	4	33	4～2月	40	通院中の患者さんの協力を得て、教員による言語聴覚療法の様子を見学した。学生が単独または2～3名のグループとなり、各学生が3名の教員の臨床を見学した。
コミュ	臨床実習 III	4	33	4月	48	通院中の患者さんの協力を得て、言語聴覚障害の評価・訓練を実施した。学生2～3名が患者さん1名を担当し、4セッション×1クール(全4回)実施した。
コミュ	臨床実習 III	4	33	4～2月	33	患者さんの了解を得て、神経内科医師による診察場面を見学した。各学生が1回の見学を行った。
コミュ	臨床実習 III	4	33	4～2月	32	患者さんの了解を得て、小児科医師による診察場面を見学した。各学生が1回の見学を行った。

【卒業研究】

学科	卒業論文タイトル
作業	ADHD児童に対する薬物効果の客観的評価の検討
コミュ	Dysarthria患者の明瞭度・自然度を向上させる教示方法の検討 -「ゆっくり」と「はっきり」の比較-
コミュ	持続的な注意機能の検査と成人のADHDの質問紙との関連について
コミュ	失語症者からの伝達におけるタブレット端末の使用効果
コミュ	失語症者のタブレット端末使用のためのカテゴリー及び階層性理解の検討 -紙面とタブレットでの比較-
コミュ	失語症者のメール文に描画を添付することで得られる効果 -タブレット端末の活用-
コミュ	耳内嚙下音と頸部嚙下音の同時記録による嚙下解析
コミュ	耳内嚙下音を用いた嚙下機能評価について
コミュ	唾液分泌刺激が反復唾液嚙下に及ぼす影響
コミュ	談話におけるフィラーの役割 -音響的特徴の検討-



#### IV. 研究業績

##### 【論文】

学科	論文名	雑誌名	著者名	発表年月日
看護	肥満のある発達障がい児への支援の検討：保護者が家庭で行なった子どもの肥満への対処	第44回日本看護学会論文集, 小児看護 110-113	鴨下 加代, 土路生 明美	2014年3月
理学	嗄声をきたしたパーキンソン病の進行例.	薬理と治療	勝岡宏之, 原田俊英, 三森康世	2014年1月
理学	ハイレゾリューション音源が自律神経機能に及ぼす影響について.	診療と新薬	原田俊英, 山本竜太, 伊藤祥史, 石崎文子, 二矢田勝行, 宮崎洋行, 上村一司, 岩城富士大, 今泉敏	2014年3月
理学	Inhibition of TOROY promotes OPC differentiation and increases therapeutic efficacy of OPC graft for spinal cord injury.	STEM CELLS AND DEVEROPMENT	Sun L, Liu S, Sun Q, Li Z, Xu F, Hou C, Harada T, Chu M, Xu K, Feng X, Duan Y, Zhang Y, Wu S	2014年4月
理学	Thermographic study on the preservability of heat effects of footbath with salt.	Hiroshima J Med Sci	Harada T, Iwakawa Y, Ikeda H, Ishizaki F, Aoi S, Nitta Y, Yoshida A, Tamura N, Iida T, Shiokawa M, Nitta K	2014年6月
理学	広島湾北部地域で育成されたカキの栄養成分分析からみた養殖環境と公衆衛生.	広島県獣医学会雑誌	新田由美子, 高橋佐恵子, 峠恭雄, 網崎宗雄, 原田俊英, 石崎文子	2014年10月
理学	Neck circumference has possibility as a predictor for metabolic syndrome in postmenopausal women.	Hiroshima J Med Sci	Aoi S, Miyake T, Harada T, Ishizaki F, Ikeda H, Nitta Y, Iida T, Chikamura C, Tamura N, Nitta K, Miyaguchi H	2014年12月
作業	発達障害児の課題遂行能力におけるスクールAMPSに基づいた提案の効果	作業療法	古山千佳子, 吉川ひろみ, 高木雅之, 引野里絵, 林優子	2014年2月

学科	論文名	雑誌名	著者名	発表年月日
コミュ	頸部外切開を要した先天性喉頭嚢胞(thyroid-cartilage foraminal cyst)の新生児症例	喉頭	宮崎拓也, 土師知行, 大野恒久, 脇坂仁美, 岡愛子	2014年12月
コミュ	嚥下障害に対する耳鼻咽喉科医の役割—手術的治療の効果—	日本耳鼻咽喉科学会会報	土師知行	2014年7月
コミュ	カラオケ歌唱による声質変化と水分摂取の関係	音声言語医学	足立千浪, 吐師道子, 城本修, 土師知行	2014年7月
コミュ	原発性副甲状腺機能亢進症114例に対する臨床的検討	日本気管食道科学会会報	南和彦, 佐藤進一, 土師知行	2014年2月
コミュ	気管切開の合併症とその対策	週間 医学の歩み	土師知行	2014年2月
コミュ	ボイスプロテーゼによる音声再建例の合併症とカンジダ感染の検討	日本耳鼻咽喉科学会会報	宮崎拓也, 土師知行, 佐藤進一, 市丸和之, 千代田朋子, 西村一成, 坂本進, 鈴木良, 岩永健, 大庭晋, 岡愛子	2014年1月
コミュ	vocal cord dysfunction例	音声言語医学	宮崎拓也, 丸山菫乃, 土師知行	2014年1月
コミュ	失語症者における項目間の意味的関連性を統制した非言語性意味判断課題の成績	高次脳機能研究	津田 哲也, 中村光, 吉畑博代, 渡辺真澄, 坊岡峰子, 藤本憲正	2014年12月
コミュ	重度理解障害を伴う失語1例における聴覚的理解課題で示すエラーの継時的分析	言語聴覚研究	津田 哲也, 吉畑博代, 中村 光, 藤本憲正	2014年3月
コミュ	2014年度診療報酬改定と摂食嚥下リハビリテーション	建帛社だより土筆100号	矢守麻奈	2014年9月

【著書】

学科	タイトル	著者名	担当範囲	出版社	出版年月日
作業	標準作業療法学専門分野 精神機能作業療法学第2版	田端幸枝	分担執筆: 第3章精神機能作業療 法の実践—疾患別の 一般的枠組み VII心理 的発達障害	医学書院	2014年11月
作業	標準作業療法学専門分野 精神機能作業療法学第2版	田端幸枝 西村玲子	分担執筆: 第4章精神機能作業療 法の実践事例 VII心理 的発達障害	医学書院	2014年11月
コミュ	標準言語聴覚医学 発声発語障害学 第2版(熊倉他 編集) 第1章 1. 発声のしくみと声の障害	土師知行	分担執筆	医学書院	2015年1月
コミュ	高齢者の言語聴覚障害 (第4章 失語症, 症例4 長期経過例)	津田哲也	分担執筆	建帛社	2015年1月
コミュ	言語聴覚療法シリーズ15 改訂摂食・ 嚥下障害	矢守麻奈	分担執筆: 第3章 I 評 価, II 訓練2直接訓練、 5代替栄養法、6予後予 測	建帛社	2014年4月
コミュ	言語聴覚療法臨床マニュアル改訂第3 版	矢守麻奈	編著: 第10章摂食・嚥 下障害	協同医書 出版社	2014年5月
コミュ	図解言語聴覚療法技術ガイド	矢守麻奈	分担執筆:IV摂食・嚥下 障害基礎的訓練におけ る手技	文光堂	2014年10月

【学会発表・講演】

注)学会発表は口演・ポスター発表を含みます。

学科	タイトル	講演者名	会議名	開催年月日
看護	発達障がいをもつ学齢児の食習慣に関する保護者による評価	鴨下 加代, 土路生明美	第45回日本看護学会－ヘルスプロモーション－学術集会	2014年8月
看護	発達障がいをもつ学齢児の運動習慣に関する保護者による評価	土路生明美, 鴨下加代	第45回日本看護学会－ヘルスプロモーション－学術集会	2014年8月
看護	児童発達支援事業利用者のニーズと今後の課題～発達支援事業所利用者アンケート自由記載の分析～	土路生明美、山西陽子、林優子、土田玲子、細川敦嗣、山本映子	第11回広島保健学会学術集会・第15回広島保健福祉学会学術大会	2014年10月
理学	精神科病院入院認知症患者の骨折に関わる要因の調査	横道尚代, 田端幸枝, 中井隆志, 沖貞明, 藤巻康一郎, 原田俊英	第33回日本社会精神医学会	2014年3月
理学	生活習慣と認知症について	原田俊英	高齢者疾患の保健・医療・介護・福祉支援プログラム「平成25年度健骨・健康増進セミナー～生活習慣で認知症・骨粗鬆症を予防する！～」	2014年3月
理学	A survey on fractures of inpatients with schizophrenia in a psychiatric hospital	Nakai T, Tabata, Y, Oki S, Fujimaki K, Harada T	16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists in collaboration with the 48th Japanese Occupational Therapy Congress and Expo	2014年6月
理学	新しいパーキンソン病日誌と症状チェックリストのご紹介	原田俊英	第一回三原PD診療を考える会	2014年6月
理学	生活習慣の改善で認知症予防！（その1）	原田俊英	NHKカルチャー	2014年9月
理学	生活習慣と認知症について～病態・治療から予防まで～	原田俊英	平成26年度メディカルエルゴノミティシヤン, 人材育成研修, 生体情報学習講座(脳特性関連)	2014年9月

学科	タイトル	講演者名	会議名	開催年月日
理学	生活習慣の改善で認知症予防！（その2）	原田俊英	NHKカルチャー	2014年9月
理学	糖尿病における神経障害について	原田俊英	興和創薬株式会社 広島支店社内ゼミ	2014年10月
理学	糖尿病と過血糖	原田俊英	第43回ロマンの仲間	2014年11月
理学	防ごう！認知症～知って得する生活習慣改善法～	原田俊英	広島県国民健康保険団体連合会総合健康教室事業「健康づくり」	2014年12月
理学	糖尿病と合併症	原田俊英	第44回ロマンの仲間	2014年12月
理学	日常診療に役立つパーキンソン病のみかた	原田俊英	松永医師会学術講演会	2014年12月
理学	パーキンソン病の病態と薬物治療について	原田俊英	広島県病院薬剤師会三原竹原地区研修会	2014年10月
作業	A case of congenital muscular dystrophy (Fukuyama type) advised to discontinue a meaningful activity that lead to a turning point toward a new life	Yukie Tabata, Akira Yoshida, Toshihide Harada, Fumiko Ishizaki	16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapy	2014年6月
作業	The usefulness of early intervention to prevent comorbidities in children with pervasive developmental disorders	Yukie Tabata	9th International Conference on Early Psychosis	2014年11月
作業	Munchausen Syndrome by Proxyにより不登校が長期化した発達障害児の6症例	林優子	第55回日本小児神経学会学術集会	2014年5月
作業	広汎性発達障害(PDD)とsyntaxin1A遺伝子の関連性の検討	小藤剛史 林優子	第55回日本小児神経学会学術集会	2014年5月
作業	発達障害をご存じですか？ー子どもの発達が心配なお母さんへー	林優子	岡山市立龍之口幼稚園・PTA講習会	2014年6月

学科	タイトル	講演者名	会議名	開催年月日
作業	皆で考える気になる子の理解と支援ー子どもの困り感を理解するー	林優子	平成26年度尾道市立幼稚園職員研修会	2014年7月
作業	発達障害の診断と治療の実際	林優子	平成26年度公開カウンセリング講座	2014年11月
作業	社会的自立に向けた教育的支援ーリハビリテーション医療の視点からー	林優子	広島県尾道南高等学校教育研究発表会	2015年2月
作業	作業中心、作業基盤、作業焦点のサービスの実行:教育と実践におけるチャレンジの克服(特別支援学校における効果的なOB・OF評価と実践の実行を導くOC実践モデル(OTIPMとCMOP-E)を使うこと)	アン・フィシャー、古山千佳子、ジ・セギョン、齋藤さわこ、ルーアン・グリスウォルド	第16回 世界作業療法連盟大会	2014年6月19日
コミュ	声と嚥下の臨床	土師知行	第3回 広島ENTAミーティング	2015年1月
コミュ	耳内より記録した嚥下音についてー嚥下運動の指標としての有用性の検討	土師知行, 林沙季, 中尾雄太, 矢守麻奈, 城本修	第59回日本音声言語医学会	2014年10月
コミュ	音声言語・嚥下障害診断治療で気を付けること	土師知行	岩国・柳井地区耳鼻科医会	2014年8月
コミュ	音声・嚥下障害の診断・治療について	土師知行	尾三東広島地区耳鼻咽喉科学術講演会	2014年8月
コミュ	音声言語・嚥下障害の診断治療で注意すること	土師知行	日耳鼻広島県地方部会研修会	2014年7月
コミュ	頭頸部腫瘍とコミュニケーション障害	土師知行	福山医療センター頭頸部センター開設記念講演会	2014年7月
コミュ	嚥下障害と耳鼻咽喉科	土師知行	脳神経センター大田記念病院オープンカンファレンス	2014年6月
コミュ	喉頭疾患に関わるピットフォールについて	土師知行	第15回徳島耳鼻咽喉科臨床セミナー	2014年4月
コミュ	音声言語医学あれこれ	土師知行	第106回日本耳鼻咽喉科学会群馬県地方部会(前橋)	2014年3月

学科	タイトル	講演者名	会議名	開催年月日
コミュ	耳内より記録した嚙下音について一嚙下運動の指標としての有用性の検討	土師知行, 岩永健, 大野恒久, 矢守麻奈, 城本修	第37回日本嚙下医学会(東京)	2014年2月
コミュ	こどもの心とことばの育て方	細川淳嗣	平成26年度三原市立大和認定子ども園保護者研修会	2014年9月
コミュ	小児の発音の誤りとその指導	小澤由嗣	言語通級指導教室担当者養成講座(福山市教育委員会)	2014年10月
コミュ	小児の構音障害とその鑑別	小澤由嗣	きらく会	2014年11月
コミュ	急性期失語に伴う聴覚的理解障害の改善過程におけるエラーの変化	津田哲也	日本言語聴覚士協会総会	2014年5月
コミュ	失語症者の語彙意味理解障害	津田哲也	第17回認知神経心理学研究会	2014年8月
コミュ	失語症者の描画アプリを使用したメール操作の検討	坊岡峰子 楠本知里 加藤優美 廣富哲也	第40回日本コミュニケーション障害学会学術講演会	2014年5月
コミュ	失語症者の表出内容を確認する手段としてのアプリ: Stalk2活用の効果	坊岡峰子 楠本知里 加藤優美 廣富哲也	第15回日本言語聴覚学会講演会	2014年6月
コミュ	失語症者の聴覚理解を確認する手段としてのアプリ: Stalk2活用の効果	加藤優美 楠本知里 坊岡峰子 廣富哲也	第15回日本言語聴覚学会講演会	2014年6月
コミュ	失語症者のタブレット端末を使用したメール活用の効果	楠本知里 加藤優美 坊岡峰子	第15回日本言語聴覚学会講演会	2014年6月
コミュ	発語困難な失語症者に対するアプリ(Stalk2)活用の効果	坊岡峰子 楠本知里 加藤優美 廣富哲也	第29回リハエカンファレンスinひろしま	2014年8月
コミュ	失語症者の聴覚理解の促進を目的としたアプリの活用: Stalk2活用の効果	加藤優美 楠本知里 廣富哲也 坊岡峰子	第29回リハエカンファレンスinひろしま	2014年8月
コミュ	失語症者に対するタブレット端末を使用した描画添付メールの導入	楠本知里 加藤優美 廣富哲也 坊岡峰子	第29回リハエカンファレンスinひろしま	2014年8月
コミュ	話し言葉によるコミュニケーションが困難な人と支援者によるStalk2利用の実態	酒井みやび 廣富哲也 京 俊輔 坊岡峰子	2014生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会	2014年9月

学科	タイトル	講演者名	会議名	開催年月日
コミュ	人工的水分・栄養補給法(AHN)の認識と受容-医療職員・学生と一般市民-	矢守麻奈、伊志嶺文、幾波絢子、竹森千尋、山下征子、東山寛隆	第5回南大阪・紀北NST研究会	2014年3月
コミュ	高齢者における摂食嚥下障害の特徴と対応策	矢守麻奈	三原市歯科医師会月例研修会	2014年5月
コミュ	人工的水分・栄養補給法(AHN)等の認識と受容	矢守麻奈、伊志嶺文、幾波絢子、竹森千尋、山下征子、東山寛隆	日本医療マネジメント学会	2014年6月
コミュ	嚥下について考える-高齢者の摂食嚥下・認知機能	矢守麻奈	日本静脈経腸栄養学会認定NST専門療法士研修会	2014年8月
コミュ	認知・摂食嚥下機能に障害のある方への対応-在宅でも行えるマネジメントとリハビリテーションの実際-	矢守麻奈	尾道市医師会訪問看護ステーション研修会	2014年8月
コミュ	スキルアップセミナー:認知・摂食嚥下機能に障害のある方への対応-介護現場でも行えるマネジメントとリハビリテーションの実際-	矢守麻奈	県立広島大学公開講座	2014年8月
コミュ	Dysphagia rehabilitation for elderly and/or demented patients by Japanese SLHTs	Mana Yamori	第1回中華民国老人吞嚥障礙高峰論壇	2014年9月
コミュ	軽度音声障害症例に対する両唇音CV音節を用いた腹圧発声法の効果	芦野直子、鈴木啓誉、平井良治、松崎洋海、児玉ひとみ、吉橋秀貴、鈴木知恵、島崎奈保子、牧山清、矢守麻奈	第59回日本音声言語医学会	2014年10月
コミュ	嚥下について考える-高齢者の摂食嚥下・認知機能-	矢守麻奈	広島県老人福祉施設連盟平成26年度科学的介護を学ぶ連続研修会	2014年10月
コミュ	食べる機能と認知機能との関係	矢守麻奈	県立広島大学研究成果発表・交流会	2014年10月
コミュ	教育現場における口腔ケア	矢守麻奈	第7回口腔ケア協会学術大会	2014年11月
コミュ	広島県産品を活用した口腔ケア・嚥下訓練用具の作成と効果	矢守麻奈	第9回広島県信用金庫合同ビジネスフェア2014医療福祉機器参入促進セミナー	2014年11月



【外部資金】

学科	タイトル	代表研究者名	制度名	研究期間
看護	発達障害をもつ思春期の子どもへの肥満改善のための保健指導方法の検討	鴨下加代	科学研究費補助金 (若手研究B)	H24～H27年度
理学	バイノーラル録音による自然音源の生理反応実験	原田 俊英	「平成25年度補正 中小企業・小規模 事業者ものづくり・ 商業・サービス革新 事業」受託研究	H26年度
理学	ハイレゾリューション音源の血管系への影響に関する実証評価事業委託研究	原田 俊英	ひろしま医療関連 事業クラスター「医 療・福祉系大学の ネットワークを活用 した実証フィールド」	H26年度
理学	カルシウム配合飲料の骨代謝に対する有効性に関する研究	原田 俊英	広島県、公立大学 法人県立広島大学 及びポッカサッポロ フード&ビバレッジ (株)による共同研 究事業	H26～H27年度
作業	学校における教員と作業療法士の連携・協働モデルの開発ースクールAMPSを用いて	古山千佳子	科学研究費補助金 (基盤研究C)	H24～H26年度
コミュ	耳内嚙下音および頸部光ファイバーセンサによる非侵襲嚙下解析システムの有用性の検討	土師知行	科学研究費補助金 (基盤研究C)	平成26～28年度
コミュ	加齢および脳障害が語彙意味機能に及ぼす影響に関する基礎研究	津田 哲也	科学研究費補助金 (若手研究(B))	平成26～28年度
コミュ	失語症者のためのタブレット端末を使用したコミュニケーション支援用アプリの開発	坊岡峰子	科学研究費補助金 (挑戦的萌芽研究)	H25～H27年度
コミュ	失語症・意味認知症者の文理解・産生の障害メカニズムー意味、文法、音韻処理の役割ー	渡辺 眞澄	科学研究費補助金 (基盤研究C)	平成26～28年度

## V. 従事者名簿

### 医師

小児科	林 優子
リハビリテーション科	沖 貞明
内科	安武 繁
精神科	藤巻康一郎
耳鼻咽喉科	土師知行
神経内科	原田俊英
整形外科	住居広士
脳神経外科	森 大志

### 看護師

看護師	笠置恵子
	吉田なよ子
	青井聡美
	土路生明美
	中垣和子
	鴨下加代
	池田ひろみ
看護師（専任）	西本美絵子
	中川廣子

医療事務受付	塩崎恭子
	田坂春美

### 非常勤専門職員

看護カウンセラー	山本映子
小児理学療法士	清水ミシェルアイズマン
心理士	西侑紀
臨床検査技師	児玉祐子

### コメディカル

理学療法士	大塚 彰
	金井秀作
	島谷康司
	長谷川正哉
	梅井凡子
	武本秀徳
	積山和加子
	高宮尚美
作業療法士	田端幸枝
	土田玲子
	小池好久
	吉川ひろみ
	古山千佳子
	西田征治
	高木雅之
	西村玲子
	永吉美香
	山西葉子
言語聴覚士	城本 修
	矢守麻奈
	小澤由嗣
	吐師道子
	玉井ふみ
	長谷川純
	坊岡峰子
	渡辺眞澄
	佐藤紀代子
	細川淳嗣
	堀江真由美
	津田哲也
	中村 文
放射線技師	飯田忠行
	中村 悟
社会福祉士	永野なおみ